

市の民の声



知覧町 西元
柚木 より子

地域資源の活用を

このほど、和食がユネスコ世界遺産に登録されました。その和食の源である山や田畑、川や海などの地域資源の大切さを再認識します。それらは先人たちが、生活の糧として大切に守り育んできたものです。

知覧の暮らしは、自然の恵みが豊富です。この

時季はフキノトウが顔を出し、日がなメジロがさえずり、木々は伸びる陽光とともに、葉芽や花芽を膨らませる。野山の息吹は、心豊かになれるのでさらに嬉しい。

山里の暮らしや景観を

都会の子どもたちにも体験させてあげたい、そんな思いから修学旅行生を受け入れています。

今年は、国際家族農業年にもなり、小規模自給的農家に陽が当たる年と願いたい。

省みれば、食は命と謳いながらの農政に、農村や農家は振り廻され続けてきた。この多様化・システム化の途で、農村保持や農業政策が見直されつつあります。うれしいのは、国連が各国に小規模農家を支持するよう要請したこと。地域資源の

自然の有機的連鎖性が破壊されれば、食の安全の喪失は必至です。

都市と農村との交流は地域資源の食材や人材を活かし、農村の多面的機能を十分に引き出し続けること請け合いです。



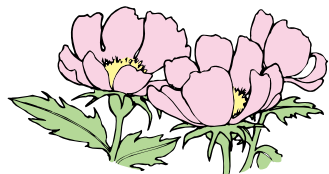
頤娃町 郡
岡 元 友 幸

未来ある子どもたちへ

私は、ふと思うことがあります。今、子どもたちは、果たして未来を、夢を見ているのだろうか。大きくならしたら何になる、こうしてはつきりとした夢や希望を口に出して言ってくれないような気がします。何故だろうと考えた時、私たち大人にもその原因があるのではないかと気付きました。何かに付けて仕事という大人、忙しいという大人、こんな私たちの姿を見ていれば、仕事、忙しいのが大人だったら大きくなんてなりたくな

い、そう思うのが子どもでしょう。時代のせいにはしたくない。でも、今子どもたちが夢や希望を見失うことだけはさせてはいけない。教育より大人も一緒に育つ「共育」こそが、今最も必要なことだと自分なりに思っています。小さなことかもしれませんが、大人が変われば、子どもも変わる。子どもが元氣あふれる、笑顔の絶えることのないようにしていきたいものですね。

これから未来ある子どもたちのために、南九州市議会議員の皆様のご活躍に期待しております。



新しい広報編集委員の紹介

議会だよりの編集は、今回から新しい委員が担当します。

▼広報編集委員会

委員長 西 次雄
副委員長 吉永 賢三
委員 塗木 弘幸
松久保正毅
蔵元 慎一
内園知恵子



“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**2月20日**開会予定
手続き簡単!! 本館2階で
住所・氏名などを書くだけ

編集後記
新年あけましておめでとうございます。
安倍政権が発足して一年余りが経過し、デフレからの脱却を掲げたアベノミクス効果で景気は回復しつつあります。

また、2020年の東京オリンピック決定、富士山や和食の世界遺産登録などで日本中が沸き、明るいきざしも見えてきました。4月からの消費税引き上げも気になるところであります。

さて、本市議会は議会基本条例を制定し、議会や議員活動の活性化を規定し、市民の意見を最大限に反映できる開かれた議会の実現を目指します。

議会構成も一新され広報編集委員会も新しい委員構成となりました。市民目線に立った分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、皆様率直なご意見やご感想などお聞かせくださるようよろしくお願いいたします。

(西)